

# テントの張り方

－簡単にできる3つのステップ－

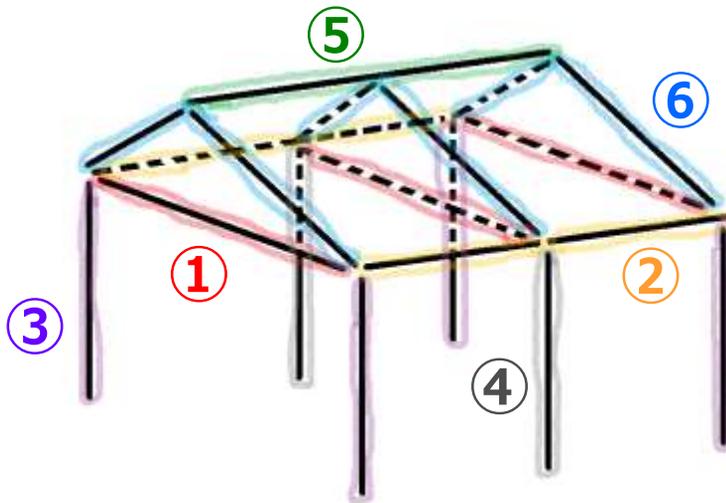
【ステップ0】 パーツの名称と組み立て人数

【ステップ1】 テントの骨組みを組む

【ステップ2】 テントのカバー（屋根の部分）をつける

【ステップ3】 テントを立ち上げる

## 【ステップ0】 テントのパーツの名称と組み立て人数



① 梁（はり）

※赤色

② 桁（けた）

※黄色

③ 角柱（かどばしら）

※紫色

④ 中柱（なかばしら）／支柱

※灰色

⑤ 棟（むね）／支柱

※緑色

⑥ 合掌（がっしょう）

※青色

※上記パーツの接合部分を「筋交い（すじかい）」と言う

※ 組み立てる際は、6人～8人程で組み立てると良い。

## 【ステップ1】 テントの骨組みを組む

- ① 梁パーツ、桁パーツをつなぎ合わせて、  
外周部分とテント中央の仕切りとなる梁を組み立てる。



- ② ①で組み立てた枠組みの四隅に角柱（テントの脚となる）パーツ、  
テントの枠組みの長い辺の中央部に中柱パーツを組み立てる。  
※筋交いは、丸い筒が2つの物は四隅の角柱、3つの物は中央部の中柱に使用。



- ③ 別途、棟（屋根となるてっぺんの）パーツを組み立てた後、桁（テントの枠組みの長い辺）と並行になるように棟パーツを持って、テントの中央部に立つ。

- ④ 棟パーツを基準にして、合掌パーツを組み立てる。



## 【ステップ2】 テントのカバー（屋根の部分）をつける

- ① 組み立てたテントとは別のスペースで、一度カバーを広げる。
- ② 骨組みとカバーの向きを合わせ、梁（テントの枠組みの短い辺）の方からカバーを被せていく。  
※掛け布団をかけるようなイメージ。



- ③ テント全体にカバーがかかったら、棟（屋根のてっぺん）の部分と、カバーの棟の部分をピッタリ重ね合わせる。



- ④ 四隅にカバーが均等にかかっているかを確認する。

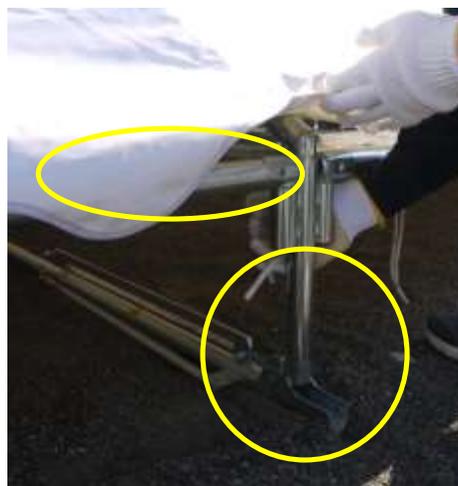
## 【ステップ3】 テントを立ち上げる

① 一柱（脚の部分）につき1～2人を配置する。

② 筋交い、柱を持ちながら、タイミングを合わせて立ち上げる。

※立ち上げる際は、筋交いの筒（下記の赤枠）部分の下側を持つ。

※下記の黄枠部分は、パーツが外れたり、手を挟む恐れがある為、持たない。



③ 梁、桁と脚（下記の赤枠）部分を固定する



④ テントカバーの紐を骨組みに括り付ける。